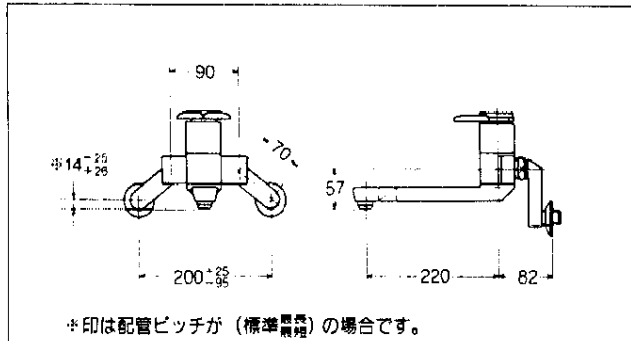


TOTO K SERIES 湯水混合水栓施工説明書

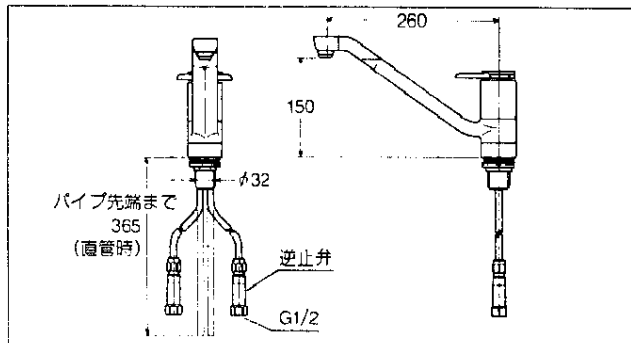
製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

寸法図

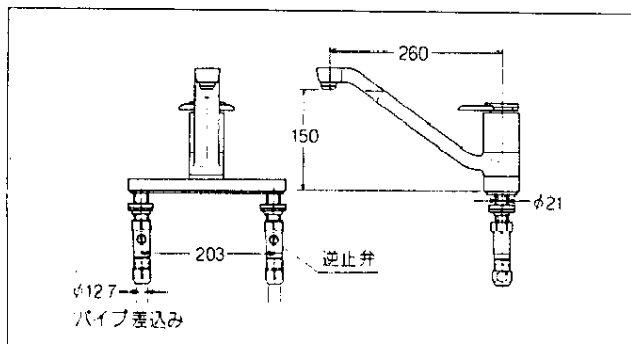
TK660



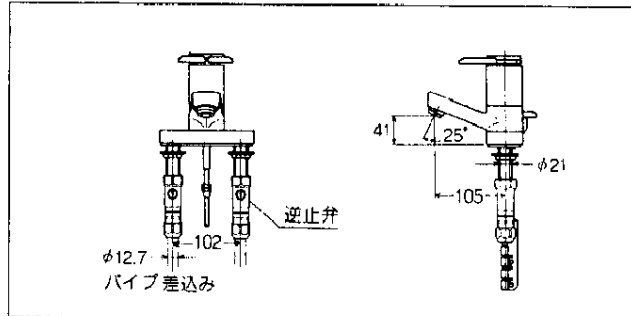
TK661



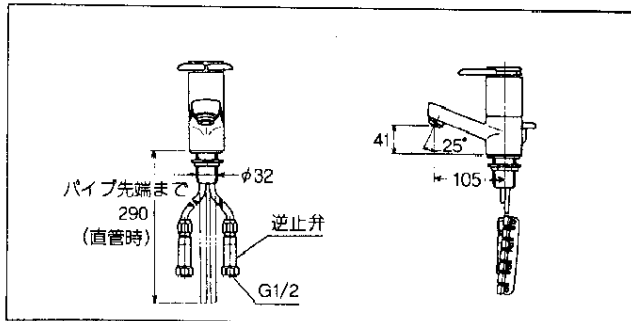
TK663



TL660A



TL661A



使用条件

1. 使用水圧

(1) 給水・給湯圧力

最低必要水圧……………0.05MPa
最高水圧……………0.75MPa

(2) 給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2. 給湯に蒸気を使用しないでください。

3. 湯・水を逆配管しないでください。

なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し配管には必ず保温材を巻いてください。

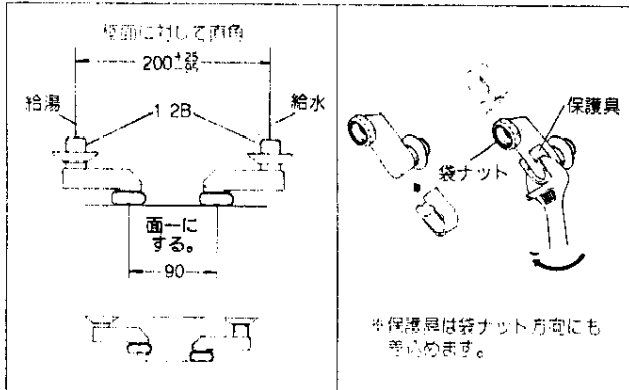
4. TK660以外は水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

器具の取付け

1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

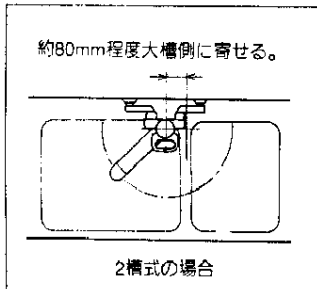
2. 取付脚の取付け(TK660の場合)



取付脚の取付けの際は、付属の保護具をあてがい、スパナなどで締付けてください。

※取付位置

- 混合栓は流しが一槽式の場合は槽の中央に取付けてください。
- 2槽式の場合は右図のように2槽の中央より約80mm大槽側に寄せるとより使いやすくなります。



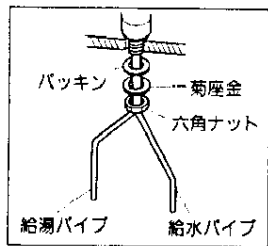
3. 混合栓本体の取付け

A. TK660の場合

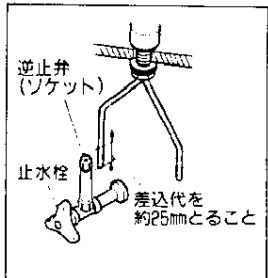
混合栓本体を取付脚に押しつけ、袋ナットで取付けてください。

B. TK661, TL661Aの場合

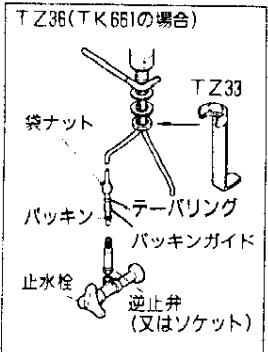
- (1) 混合栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取出し芯に合うように曲げて広げます。このとき、できるだけ直管部が長くなるようにしてください。また、給水・給湯パイプがつぶれないように注意してください。



- (2) 逆止弁を止水栓に仮固定して、給水・給湯パイプの必要長さをあたり切断します。このとき、逆止弁への差込代を約25mm確保してください。

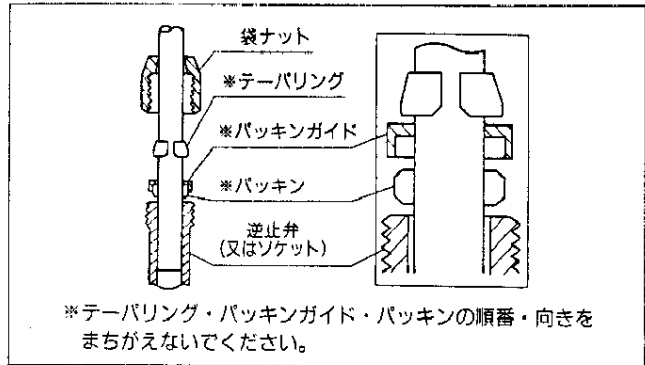


- (3) 給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、バックシンガイド、ゴムバックシン、の順に入れて、逆止弁(又はソケット)を差込んでください。次に逆止弁(又はソケット)を止水栓にねじ込み、混合栓本体を本固定してください。



- ※ 混合栓本体を固定するときは、取付穴周囲の汚れをとり、セパレート紙をはがしてください。
- また、固定には別売のナット締付専用工具(TZ33, TZ36 (TK661の場合))を利用して確実に締めてください。

※テーパリング接続方法

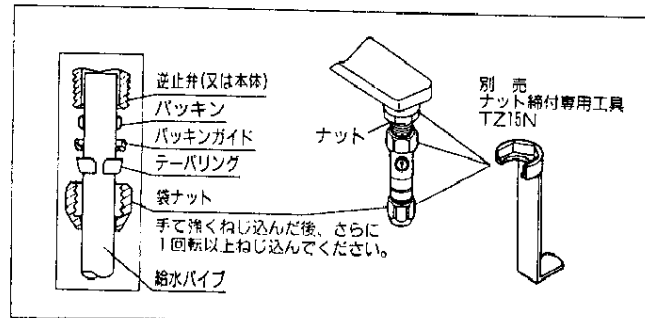


- (4) 最後に給水・給湯パイプを逆止弁(又はソケット)に押しつけ、手締後1回転以上締付けてください。

(注) 給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないよう確実に固定してください。

C. TK663, TL660Aの場合

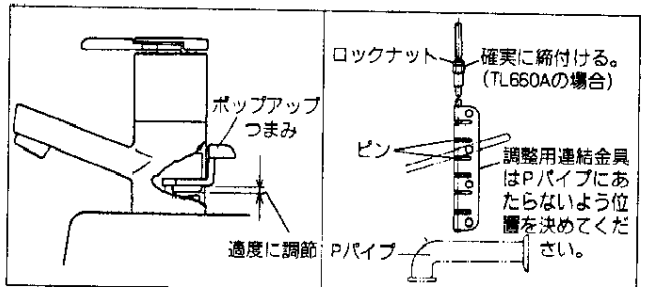
混合栓本体を固定するときは、取付穴周囲の汚れをとり別売のナット締付専用工具TZ15Nを利用してナットを確実に締めてください。



- ※ 差込み給水・給湯パイプに袋ナットを入れ、テーパリング、バックシンガイド、バックシンの順番・向きをまちがえないように接続してください。

※TL660A, TL661A取付上の注意

ポップアップ式排水金具の施工時には、ポップアップつまみをいっばいに押し下げたとき本体及び排水管にあたらぬように適度に調節してください。



お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかな布でふき、ときどきマシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

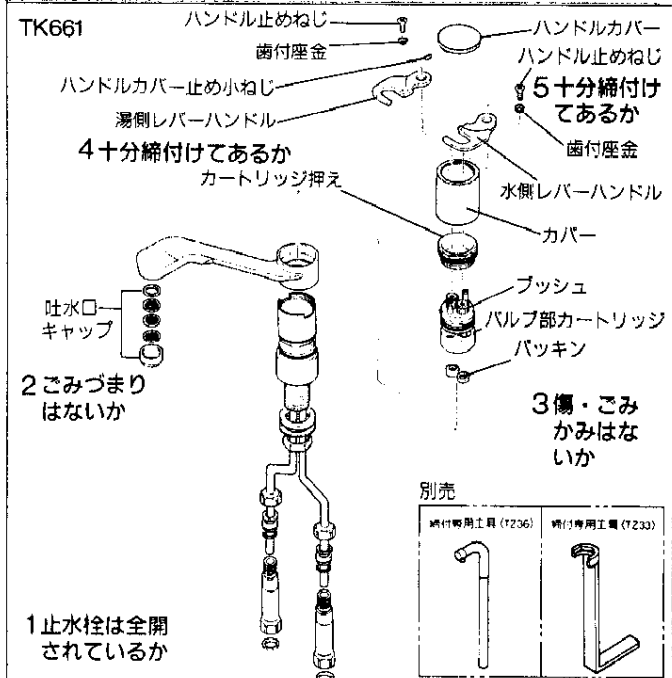
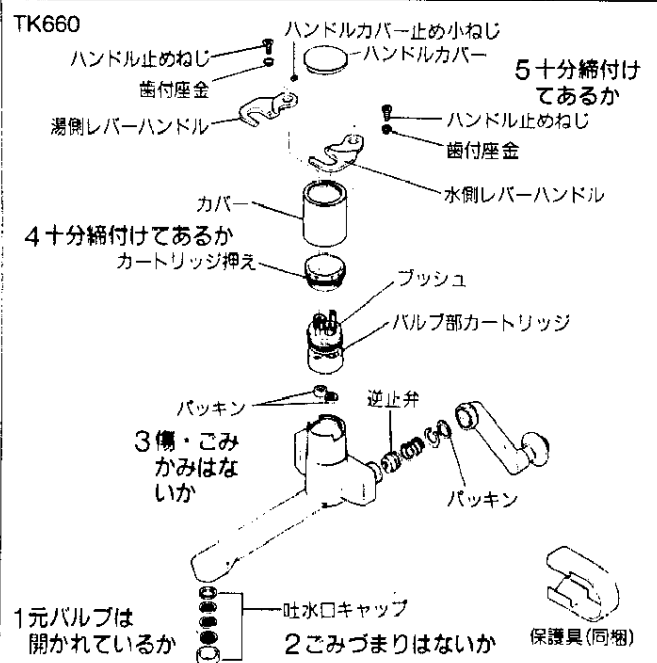
分解と点検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

| 現象 | 点検箇所 |
|-------------------------|------|
| 吐水量が少ない | 1・2 |
| 水が止まらない ハンドル部から水が漏れる | 3・4 |
| 吐水温度不良 | 1・2 |
| ハンドルがガタつく | 5 |



TK663

ハンドル止めねじ
歯付座金
湯側レバーハンドル
ハンドルカバー止め小ねじ
ハンドルカバー
ハンドル止めねじ
歯付座金 5十分締付けてあるか
水側レバーハンドル
カバー
カートリッジ押え 4十分締付けてあるか
ポップアップつまみ
吐水口キャップ 2こみづまりはないか
フッシュ
バルブ部カートリッジ
パッキン 3傷・ごみかみはないか
別売
引棒

1 止水栓は全開されているか

TL661A

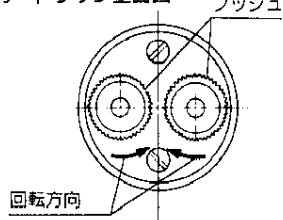
ハンドル止めねじ
歯付座金
湯側レバーハンドル
ハンドルカバー止め小ねじ
ハンドルカバー
ハンドル止めねじ
歯付座金 5十分締付けてあるか
水側レバーハンドル
カバー
カートリッジ押え 4十分締付けてあるか
ポップアップつまみ
吐水口キャップ 2こみづまりはないか
フッシュ
バルブ部カートリッジ
パッキン 3傷・ごみかみはないか
別売
引棒

1 止水栓は全開されているか

ハンドル部の取付要領

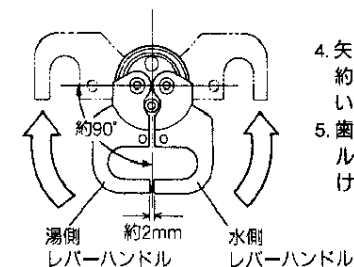
レバーハンドルをとりはずした場合は次の要領でお取付けください。

カートリッジ上面図



1. カートリッジを本体に入れカートリッジ押えで十分に締付けた後、カバーをねじ込んでください。
2. スピンドルにフッシュを入れ図のように止まるまでまわしてください。
3. 湯水のレバーハンドルを中央ですきまが約2mmになるように入れてください。

- 注) すきまが約2mmにならない場合はフッシュ・レバーハンドルを差し替えて調節してください。
4. 矢印のように左右に開いたときに約90°回転するか確かめてください。
 5. 歯付座金と小ねじでレバーハンドルを固定しハンドルカバーを取付けてください。



TL660A

ハンドル止めねじ
歯付座金
湯側レバーハンドル
ハンドルカバー止め小ねじ
ハンドルカバー
ハンドル止めねじ
歯付座金 5十分締付けてあるか
水側レバーハンドル
カバー
カートリッジ押え 4十分締付けてあるか
ポップアップつまみ
吐水口キャップ 2こみづまりはないか
フッシュ
バルブ部カートリッジ
パッキン 3傷・ごみかみはないか
別売
引棒

1 止水栓は全開されているか

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

手渡してできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。